

12月18日 岐阜大学との協働で橋梁保全講習会を実施

1. 概要 ～ 地域を支援して安全・安心を提供します ～

下呂市において、職員の橋梁保全の基礎技術と点検技術の向上を目的とした橋梁保全講習会が、下記のとおり開催されました。

なお、この講習会については、国土交通省中部地方整備局と岐阜大学(※ME)が、「国立大学法人岐阜大学と国土交通省中部地方整備局との連携・協定に関する協定書」に基づく地方自治体への支援として、橋梁点検の基礎的講習と現地研修を協働で実施しましたので、報告します。

(国土交通省中部地方整備局では、地域における防災機能の向上及び地域社会の持続的発展に寄与することを目的に国立大学法人岐阜大学と協定を結んでいます)

※ME(社会基盤メンテナンスエキスパート)とは

岐阜大学・産業界及び岐阜県等が連携し、平成20年度より岐阜大学に設置された「社会基盤メンテナンスエキスパート養成ユニット(文部科学省科学技術振興調整費)」により、新たな社会資本の整備、既存社会資本の維持管理・補修の計画・設計・実施技術を習得し、地域の活性化に貢献する総合技術者

○日 時:平成24年 12月18日(火) 13:00 ～

○場 所:下呂市役所萩原庁舎及び下呂市管理橋梁(益田橋)

○日 程:13:00～ 座学、15:15～ 現地研修

○参加者:下呂市役所 20名

岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター沢田准教授及びME 11名

中部地整より 15名

2. 講習会の様子



【座学】熱心に受講する参加者



岐阜大による
UAVデモンストレーションの様子



【現地研修】寒風吹きすさぶ(当日最高気温5℃)中、熱心に点検実習されました



3. 報道

なし

以上